

文化財NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

1 旧南会津郡役所(県指定重要文化財)

明治初期の洋風木造建築。ギリシャ建築を思わせる円柱や、扇形のステンドグラスなど建築された明治時代の当時としては県内最大規模の郡役所でした。

1885年(明治18年)建築の擬洋風木造建築で、**県指定の重要文化財**になっています。地元住民らの運動により移築を経て保存された建物の内部は、現在は歴史資料館として入館できます。



大会議室:ステンドグラス

郡長室:執務机



2 これ見て!

【階段】

2階大会議室への急階段を登ってみませんか!

当時のままの姿は“壁”のような急勾配となっており、最上部付近のカーブは絶妙です。気をつけて…。



【大礼服】

第14代南会津郡長濱田清心氏の遺品。

鹿児島から派遣された郡長ですが、歴代最長の7年もの任務に従事。たいへん田島の地を気に入られたそうです。

この大礼服はお孫さんから寄贈され、展示されています。



郡長さんが見ていた風景

2021/04/07-10/23

3 南山御蔵入騒動

享保5年の初冬、南山御蔵入の農民が一揆を起こしました。

百姓の訴状を要約すると、高率年貢の引下げ、年貢の江戸廻米の中止など13カ条があげられていました。粘り強く訴える農民に危機感をもった幕府は奇策を講じ、百姓達の団結を打ち砕いてしまいます。

享保7年7月幕府は、農民を扇動して一揆を策謀したとして、一揆の指導者と目される名主3名、百姓3名を斬首、田島鎌倉崎にさらし首にしました。

しかし、百姓が差し出した願いは、幕府も認めざるを得ない部分もあり、会津藩への預け支配に切り替え、百姓の要求は一部実現されました。

犠牲となった6名は奥会津の人々によって「南山義民」と讃えられ、郷土の誇りとして代々語り伝えられています。



主要な場面が挿絵と説明文により展示されています。詳しくは旧郡役所で御覧になってください。